

フレッシュアップ コミュニケーション

東京学芸大学附属竹早中学校同窓会

〒112-0002 東京都文京区小石川 4-2-1 東京学芸大学附属竹早中学校内
同窓会会長 古谷顯史郎

'16.6

ご挨拶 会員の皆様へ



同窓会会長 古谷 顯史郎

会員の皆様には、ご健勝にて、ご活躍の事と存じます。

本年は、三十八期卒業の皆様にご協力頂き七月九日(土)

に総会を開催致します。ご招待致します新会員をはじめ、多くの皆様に出席頂きます様宜しくお願い申し上げます。

昨年は、残念ながら所用の為文研は欠席させて頂きましたが、入学式、運動会、卒業式に出席させて頂きました。特に印象的でしたのは、卒業式では送る側にいた二年生が、翌月の入学式では最高学年らしい姿勢、雰囲気にならなっており、合唱からもその印象が強く伝わって参りました。一ヶ月の間に立場が変わる事によって大きく成長する姿は、何とも竹早の生徒らしいと感心しました。

今年の活動は、来年母校が創立七十周年を迎えますので、記念名簿の発行準備、七十年記念行事、協賛事業の予算化に加え、創立七十年記念実行委員会を立ち上げる予定です。同委員会の活動については、過去に同窓会が参画した学校周年記念行事や協賛事業を参考に、学校、創竹会と協力出来る事は連携してまいりたいと考えております。過去の周年行事としては、記念式典及び記念誌発行を行っており、その他には植樹、校旗、体育館ステージ観帳等の寄贈、卒業生による講演会や音楽会の開催といった内容となっております。こうした周年行事は、学校の歴史であると同時に同窓会の足跡でも有ります。同窓会としても出来るだけの協賛、協力したいと考えておりますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

28年度 同窓会総会のお知らせ

総会担当幹事 第38期(昭和62年卒)

- 日 時/平成28年 7月9日(土)
【受付開始】13時30分より
【第一部 総会】14時00分~14時30分
【第二部 懇親会】14時45分~16時15分

- 会場/竹早小学校1階 ランチルーム
○会費/一般 2,000円
大学生 1,000円
ご招待 現・旧教職員の方々、高校生

○催し物/講演会

※新会員の第67期(平成28年卒)、同窓会総会担当幹事の第38期・来年度担当年度の第39期のみなさま、お誘い合わせの上、ぜひご出席ください。

短期間でのお願いで恐縮でございますが、ご出席・ご欠席を、同封のがきにて、6月24日(金)までにご返信ください。

話は変わりますが、母校を取り巻く環境の変化についてお話しさせて頂きます。昨年末、文科省が推進する施策は、同グループ内での競争を促すため、①世界最高水準の教育研究、②特定の分野での世界的な教育研究、③地域活性化の中核となる教育研究と、国立大学を三つに分類しました。高い評価を得た大学へは運営交付金を重点的に配布すると発表しております。東京学芸大学は教育系大学の中で唯一②グループに入りました。その結果、母校竹早中学校は新たに予算が付き、四件の新規研究を実施する事になっていくと伺っております。現状でも忙しい教職員の先生方に掛る負担はさらに重くなりますが、生徒の将来にも役立つ研究と成りますので、頑張って頂きたいと思えます。また、良い結果が出る事を期待しております。

最後になりますが、会員の皆様には、今後共、さらなるご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。

附属学校として向き合う課題



学校長 丹 陽子

同窓会の皆様には日頃より大変お世話になっております。誠にありがとうございます。本年度も校長を勤めさせていただきます。何卒よろしくお願いいたします。

新年度が始まった直後、熊本県で大きな地震が起こり、五月に入った現在もまだ続いています。被災された皆様にお見舞いを申し上げます。四月末に全国国立大学附属学校連盟並びに全国国立大学附属学校PTA連合会から熊本大学附属学校園より支援要請があったとの連絡が入りました。本校でも趣旨に賛同し、PTAの皆様からのご理解もいただいて教職員の募金をはじめ、保護者の皆様へ募金へのご理解とご協力をお願いし、生徒たちには、生徒会を中心に募金について具体的な行動を検討するよう指導を開始いたしました。自然災害は近年日本全国どこにおいても頻発しており、日頃の準備と発生した時の助け合いと協力がますます重要になって来ております。本校とい

いと存じます。

大学改革が進められる中、国立大学附属学校に対する社会の見方も変化しつつあります。附属学校の存立の意義が、時代の変化の中で改めて問われているといえましょう。本年一月二十二日に竹早地区幼小中合同の公開研究会を開催いたしました。当日は六百人近い参加者をお迎えし、盛況のうちに終えることができました。本年度より小中一貫の義務教育学校の設置が実施され、今までも増して、一貫・連携教育に対する関心の高まりがあったように思われます。一九八〇年代から小・中学校一体型の校舎に改築、連携教育の実践、理論研究とデータベース作成と地道に研究を積み重ねてきた竹早地区の実績が評価された証しであると考えております。本校ではこうした実績を踏まえつつ、さらに現代的な課題に対して、附属学校としての役割を真摯に考え、対応していく所存です。

早いもので、竹早中学校に赴任して四半世紀が過ぎました。平成二年に着任して、平成四年三月に卒業生を出しました。その卒業生も四十近い年頃です。私が年をとったなど感じるのも致し方ないですね。ところで、先日卒業生が来校し、二時間ほど昔話や近況を話してくれました。帰り際に記念写真(?)を撮って帰りましたが、彼の話でとても領ける内容がありましたので紹介したいと思います。



副校長 勝岡幸雄

現在、弁護士を職業としている彼は、勤務先の弁護士事務所中で中堅ということでした。所属している弁護士の人数は多い方で、その中に竹早中学校の卒業生(当然同窓生)も数名いるようです。しかし、彼には同窓生が直ぐに分かるというのです。「やはり、竹中出身者は持つている雰囲気があるんですね。」

ここで言う雰囲気とは、どのような雰囲気だったのでしょうか。その時は具体的に何が違うのかを聞きそびれました。疑うことなく当然そうだろうなと思い、何十年経っても竹早中学校の生徒が私に見せる人懐っこい(彼が正にそのままの)姿を思わずにはいられませんでした。

社会人になっても同じなんだなと思っておりますが、この文章を読んでいらつしやる卒業生の皆様に、私の思いは間違っていないかつかか教えて欲しいと思います。私が長くこの地で頑張つて来られたのも、別れ難くさせる竹中生の「持つている雰囲気」人懐っこさがあったからだと思っております。如何でしょうか。

最後になりますが、国立大学法人が置かれてる厳しい状況の中、物心両面での変わらぬ援助に心より感謝しております。今後ともよろしくお願い致します。

コンピュータ室における 検索指導者の募集

期間：7月13日・15日、9月7日・14日
午後2時～3時

内容：中学3年生の卒業研究における
インターネット検索指導等

*経験不問、交通費実費を含めて薄謝ですが、お支払いします。

*問い合わせ・連絡先：勝岡副校長

電話：03(3816)8601(代)

新任・退任の先生挨拶

● 退任挨拶

竹早と共に



渡辺行野

昨年度まで、大変お世話になりました。色々な方々の支えあつての自分だったかと思ひます。心より感謝申し上げます。

竹早中学校で過ごした時間は、とても充実したものだったように思ひます。その一年一年の中に、色々な人との出会いや別れもあり、そんな巡り合わせの中で自分自身も成長できたと思ひています。合唱や吹奏楽演奏会、授業や行事、公開研究会や実習生指導、担任など色々な思い出がありますが、その一つひとつの経験が大きく積み重なり、自分の糧となっています。子どもたちにも、「経験の積み重ねから人は育っていくこと」を伝えようとしてきましたが、まだまだ自分自身も学ぶことや、沢山の世界で視野を広げていくことが必要だと思ひております。

す。同じ場所で時間を重ねることはできませんが、精一杯頑張つて参ります。最後になります。これからも竹早中学校の益々のご発展と諸関係者方のご活躍を祈念いたします。ありがとうございます。

素晴らしき竹早での日々



渡邊智紀

上園先生が帰国されるまでの限られた時間ではありましたが、その3年間は私にとつてかけがえのない時間でした。生徒・保護者の皆様、同僚の先生方など、多くの方に恵まれたことに心より感謝申し上げます。私自身多くの刺激を受け、まさに成長を実感できた3年間だったと思ひます。今年度よりお茶の水女子大学附属中学校に赴任いたしました。竹早で得たことを生かし、今度は外側から竹早に恩返しをしていけたらと思ひています。

菊地孝太郎



2015年度を持ちまして、竹早中学校を退任することになりました保健体育科の菊地です。在任中多くの方々に多岐にわたつて、ご支援を賜りましたこと、この場をお借りしまして、深く御礼申し上げます。御校の教員であつた誇りを胸に、この3年間で培つた経験を活かして、新しい職場でも躍動していきたいと思ひます。御校及び皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。

● 新任挨拶

角増 柊



今年度より就任いたしました角増柊と申します。教科は音楽を担当しております。どうぞよろしくお願ひいたします。

竹早中学校へ来て最初の仕事は、新三年生が入学式で行なう、新入生へ向けての合唱の指導でした。そこでの演奏の質はもろろのこと、奏でられた音や声は、新入生のみならず私の心にも美しく響きました。そして、学校全体で音楽を大切に育まれていることに、とても感銘を受けました。

この素晴らしい伝統を引き継がせていただくことに感謝いたしますとともに、竹早中学校の音楽文化のさらなる発展に貢献できますよう、頑張つてまいります。



長谷川佳奈

この度、竹早中学校で勤務させていただくことになりました長谷川佳奈と申します。3学年の英語を担当しております。授業では、子どもたちの身近な話題に引き寄せ、「使いたくなるような英語」を多く取り入れていきたいと考えています。授業に限らず、興味関心のすてきな種が成長し、いつか花開くよう、微力ながらそのお手伝いができればと思ひております。精一杯頑張つて参りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

三十年前に

タイムスリップ

38期生のページ

38期生が竹中を卒業したのは1987(昭和62)年。今や在校生は70期：時の流れを感じざるをえない40代半ばではありますが、卒業時の担任の先生方や同級生の文章で、ひと時、30年前にタイムスリップ！

三十年という時間

佐々木 棟明

(元3年A組担任)



38期生が竹中を卒業した年、私は38歳でした。なんと若かったことか。今は、思わぬところで卒業生から声をかけられ戸惑い、記憶がよみがえるのは家に着いた頃、という場合も珍しくありません。

それに対して、皆さんは、15歳の少女から、45歳の社会の中軸となるまでに成長しました。30年という年月は、中学生生活の10回分、15歳までの生活の2回分に相当します。その中でさなぎが蝶になるぐらいの大きな変化をしているのだと思います。さらに皆さん自身の中でも、それぞれの異なる多様な30年間だったと思います。そうした多くの卒業生に再会できるのは教師冥利に尽きます。

号令無用

荒井 正剛

(元3年B組担任)



38期生は私が竹中に着任した年に担当させていただいた記念の学年で、人懐こ

くて明るい印象が残っています(「アツ軽い」とも言われましたが)。3年生の校外学習出発前日に娘が生まれ、その命名でバス車内が妙に盛り上がりました。突拍子もない名前ばかりでしたが。

竹早中学校で授業前後の号令をなくしたのは皆さんのころからです。先生が入室したら、号令なしで起立し挨拶する。他の学校の授業で号令がかかると戸惑いすら覚えます。指示待ちではない主体性育成の基になる取り組みで、あちこちで自慢し推奨してきました。

社会の中軸となつて活躍中の皆さんに期待するとともに、「持続可能な発展」の精神で、細く長く励んでほしいと思います。

手のひらに残る想ひ

柴田 俊和

(元3年C組担任)



38期生といえは、まず思い出すが1年生の高萩大心苑での夜の出来事です。今のご時世だったら大問題になっていたでしょうね。右手を見つめては後悔しています。「あの時、佐々木先生と目を合

わせなければ良かったのに」と。

2年の田野畑村でのジャガイモ事件は今でも覚えています。最終日の盛岡でのわんこそばでは、食べるのが想定外に早すぎ、多すぎで、そば茹でが間に合わなかったことを思い出します。また、バスに酔ってわんこそばを食べられなかった佐々木先生が、盛岡駅で立ち食いそばをそつと食べていた姿も印象的でした。

3年の京都での深夜の出来事も今では楽しい思い出です。ともかくこの学年の担任として、3年間退屈しなかったことを覚えていきます。あれから30年。私はまだ現役の大学教員として働いています。久しぶりに皆さんに会えるのが楽しみです。

田野畑村の思い出

松下 剛

(元3年D組担任)



在職29年間は、校舎改修で2学期間、附属大泉中学校に間借りしたことに始まり、新校舎竣工で終わりました。その間、学級担任は17回でしたが、3年間持ち上りの学年は38回生だけです。京都・奈良方面の修学旅行は何回も行っていった

で、38回生が2年生の時に一緒に行った東北旅行が強く印象に残っています。

夏、ペットボトルの水を飲む度に、龍泉洞の入り口前のこんこんと湧き出る水を飲んだ時のあの喉越しの感動が忘れられません。また、スーパードで買った解凍刺身を食べる時には、民宿で出された新鮮な魚貝等の味が思い出されて、もう一度田野畑村で、今度はお湯割り焼酎で食べてみたいと思ったりします。

昼、断崖の上から展望した北山崎の絶景。夜、防波堤を舞台に自動車のヘッドライトで照らし出して鑑賞した鹿踊りも印象的でした。

夕食後、民宿のご主人はかつての津波の恐ろしさを話しておられました。その恐怖が5年前に現実となってしまったのは何という悲劇。東日本大震災では地震そのものより津波の被害が大きかったと聞きます。田野畑村の宿命を思う時、心が痛みます。

田野畑村からの帰り、盛岡市内のわんこそば屋で、お店の方が38回生の胃袋の実力を読み違えて、途中30分近くもわんこそばの供給が中断したことや、我等引率者の中に100杯以上も平らげた猛者がいたこと等も思い出深いですね。

竹早協奏曲

長島 光里



昨年秋、気になるしこりを見つけて、同級生の久保田君（東京医科歯科大学医師）の診察を受け、乳癌と告知された。「ほんと？」笑おうとしたが失敗、涙がこぼれた。そこからの闘病は痛くて辛くて、でも振り返れば賑やかな「竹早協奏曲」だった。

告知の夜に続々と集まってくれた同級生達。「怪しいサプリに騙されるな」とランチに来てくれた同級生。「光里の魅力はおっぱいではない！」と泣いて電話くれた同級生。術前モード残したいと頼んだら女性カメラマンに依頼してくれた同級生。「傷痕綺麗でしょう？」って生々しい写真を見せられて困っていた同級生。病院まで足を運んでくれた同級生。遠くからお見舞いを送ってくれた同級生。沢山のメッセージ…

私にとつての竹早は居心地いい実家。新しいエピソードが追加されたから10年は、またこれをつまみにお酒が飲める。笑って騒いで泣いて怒って…ずっと「竹早協奏曲」を楽しみたい。ありがとう。ほんとに。

素晴らしき学生生活

細田 哲司



竹中を卒業して三十年、皆さま如何お過ごしでしょうか。私の方、アメリカに来て早七年。特にこのロサンゼルスに住んで五年、温暖な気候と、ある意味お気に入りの文化に体が慣れ、もはや日本に帰れない体になっております（笑）。

渡米のきっかけは南カリフォルニア大学のMBAでした。人生最高の一年。思いつくことは何でも試そうと、授業中には気付いたことを発言。学級委員長という大役も預かり、日本文化を理解してもらおうと、日本食パーティーも実施しました。

でも、自分にはもう一つ、人生最高の時間がありました。竹中での三年間です。先生と同級生の温かさに支えられ、何でも試せた。器楽アンサンブル部でライブをやらせてもらったり、合唱コンクールで誰も歌ったことのない洋楽を歌ったり。

卒業して三十年経つ今改めて、竹中の楽しかった三年間は私の身となり骨となり、素晴らしき皆さんとの時間があつたからこそ、今の自分があると強く感じております。



今も教室はカーテンじゃなくて、ブラインドなのかな？

噂の(?)「わんこそば」
(2年校外学習)



注目 「生徒愛」が強くて… (修学旅行)



仲が良いのは当時も今も
(修学旅行)



千手観音!?
(修学旅行)



高萩大心苑でソフトボール
(1年校外学習)

「伝説」のツーショット…
(運動会)



平成27年同窓会総会報告

37期幹事 仲野一朗

平成27年7月11日(土)の午後、竹早小学校ランチルームにおいて、平成27年度同窓会総会及び親睦会を開催いたしました。暑い日差しの中、84名もの同窓会会員の方々にご参加いただきまして深く感謝しております。また手前味噌ですが、37期幹事の皆さん、協力ありがとうございました。卒業以来会というメンバーもいたもの、同じ学校を卒業したという共通項があるだけに、チームワーク良くできたのは不思議です。当日はポリネシアから特別



に参加してくれた(ような)青木君の司会進行で、滞りなく進みました。オーガニックレストランからのケータリングの食事も好評でしたが、それ以上に好評だったのが幹事の石川さんご紹介のジャグリングです。校長先生からの有難いご挨拶もいただきます。大成功で幕を閉じたものと確信しております。この後は場所を移動して37期の同窓会を開催し、2次会、3次会と朝まで続きました。このような素晴らしい竹早中学校の伝統がこれからも末永く続くよう心より願っております。

三期同窓会

高柳 良夫

四月十二日(火)九段のホテルグランドパレスで「傘寿を迎える記念クラス会」を開催しました。昼間で天気にも恵まれたこともあり三十三名の多くの出席者で賑わいました。殆んどが今年八十才を迎える訳で、あらためて「良くぞここまで来たもんだ」と、皆がしみじみと実感した次第です。出席者の中には毎回のようには姫路や大阪から駆け付けてくれる人、又続けて二十回近くも休まず出席している人が何人も居るのは嬉しいことです。着席で食事しながら、昔話や孫のこと、病気の話まで盛り沢山の話題で熱中している姿は中学校時代の面影を彷彿するものがありました。それぞれ同じ八十年の人生ですが、私にとっては竹早中学校時代が一番充実して楽しかったように思います。「仲良きことは美しき哉」と言う言葉のように、今なお仲良く付き合ひ、

話合える友達を持たたことを心より幸せに思っています。友たちの健康と長寿を祈念して!



母校PTA文化厚生部からのお願い

例年行われている制服等のリサイクルを、今年度は左記の要領で行います。ぜひご協力ください。

- 現行の制服(男女とも)、ワイシャツ、ブラウス、ネクタイ、リボン、ベストなど。
- 運動会(9月24日)、文研(11月2・3日)当日に受け取ります。運動会ではグラウンドへの階段下に回収箱を設置します。
- 竹早中学校事務室あての郵送・宅配でも常時受け付けいたします。

創立70周年記念実行委員会 起動開始します!

2017年、竹早中学校は創立70周年を迎えます。

本校70年の歴史の中で、時代の変遷を受けつつ、学校教育がリードされてきました。そこで平成28年度第一回同窓会理事会上にて、更に今後の発展を願ひ、古谷同窓会長のもとに「創立70周年記念実行委員会」を立ち上げ、実行委員長に白石英行同窓会理事が着任し、「学校」「創竹会」「保護者会」と連携をしながら、今後の対応を検討していくことが決定しました。

(沿革)

- 1947年4月 六・三制実施により東京第一師範学校女子部附属国民学校高等科及び東京第二師範学校女子部附属国民学校高等科を廃し、それぞれ東京第一師範学校女子部附属中学校を文京区久堅町に、東京第二師範学校女子部附属中学校を文京区東片町に設置して創立された。
- 1949年5月国立学校設置法施行令により東京学芸大学東京第一師範学校竹早附属中学校と東京学芸大学東京第二師範学校追分附属中学校に校名変更、1951年に東京学芸大学附属竹早中学校と東京学芸大学附属追分中学校に改称された。
- 1954年4月 両校は廃止され、東京学芸大学附属「新設」中学校として文京区竹早町の東京学芸大学竹早分校校舎あとに統合新設された。
- 1960年 東京学芸大学附属竹早中学校に改称。1997年東京学芸大学の学部改編により東京学芸大学教育学部附属竹早中学校に改称。
- 2004年 国立大学の法人化に伴い国立大学法人東京学芸大学附属竹早中学校となり現在に至っている。

教育後援会 「創竹会」からのご挨拶



創竹会会長
古谷 顕史郎

同窓会会員の皆様には、平素より教育後援会活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

三嶋前会長の健康問題が有り、急遽同窓会会長兼務で創竹会会長を引継がせて頂きました。創竹会活動の主旨、役割については、フレッシュアップコミュニティにおいては、フレッシュアップコミュニティにて三嶋前会長から説明が有りましたので同窓会の皆様にはご理解頂いていると存じます。

現下の学校を取り巻く環境は、今年度も国からの大学への運営費交付金が14%程度削減される様で、予算上益々創竹会活動が重要となります。また、アクティブラーニング、ICT教育関連のソフト及びハードの充実は早急に進めなければなりません。一方、長期的な創竹会の維持発展には同窓会の継続的な協力が必要となります。その為にも、多くの皆様が賛助会員として創竹会の活動に参加して頂きたく存じます。

最後になりますが、皆様へさらなるご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

平成27年度 常務理事の募集

同窓会理事会では、常務理事の募集をしています。古谷会長を中心として、様々な年代、職業の方々が各分会に分かれて活躍しております。現在のメンバーは次頁に掲載してありますので、参考にしてください。

主な仕事は、総会の運営、先生方との懇親名簿の管理・発行、フレッシュアップコミュニティの発行などです。理事会は年に3回程、土曜日の午後2時から4時に、懐かしい竹早中で行われます。堅苦しい会ではないので、気軽に参加してください。問い合わせ、参加をお待ちしています。(松岡)

同窓会部活動援助金について

同窓会部活動援助金につきましては、今年度は次のような活動に使わせて頂きました。例年このように支援して頂き、感謝に堪えません。

- デジタルハイビジョンカメラ(演劇部)
- ユーホニウム・アルトサクソ(吹奏楽部)
- 百人一首読み上げ機(百人一首部)
- ブルーレイプレイヤー(ダンス部)
- トレース台(漫画・小説イラスト部)

本校の部活動は、運動部は各大会で活躍し、都大会にも出場することが多くなりました。文化部につきましても、個性豊かな活動が紹介されています。

今後とも、部活動に対する応援や支援をよろしくお願い致します。

平成28年度 予算案

(自平成28年4月1日
至平成29年3月31日)

収入の部 (円)		支出の部 (円)	
I 前年度繰越	13,379,659	Ⅲ 本年度支出	3,590,000
【内 訳】		【内 訳】	
定期預金	3,000,000	同窓会会報発行費(1)	
普通預金	3,056,842		1,400,000
郵便貯金	7,226,042	総会・懇親会開催費	650,000
小口現金	96,775	常務理事会費	50,000
		総務費	60,000
		文書事務費	50,000
		郵便連絡費	180,000
		慶弔費	90,000
II 本年度収入	2,904,000	卒業記念品代	140,000
【内 訳】		クラブ活動援助金	600,000
新入会員会費	1,500,000	技能強化支援金	100,000
同窓会活動支援寄付金	500,000	名簿入力・追録費	150,000
		ホームページ作成・維持費	120,000
維持会費	800,000	差引残高	12,693,659
総会・懇親会会費	100,000	IV 次年度繰越	12,693,659
預金利息	1,000	【内 訳】	
名簿売上	3,000	定期預金	3,000,000
		普通預金	3,500,000
		郵便貯金	6,000,000
		小口現金	193,659
合計	16,283,659	合計	16,283,659

注：(1)送料を含む

平成27年度 会計報告

(自平成27年4月1日
至平成28年3月31日)

収入の部 (円)		支出の部 (円)	
I 前年度繰越	12,670,079	Ⅲ 本年度支出	2,860,106
【内 訳】		【内 訳】	
定期預金	3,000,000	同窓会会報発行費(1)	
普通預金	2,127,764		1,329,357
郵便貯金	7,329,874	総会・懇親会開催費	455,564
小口現金	212,441	常務理事会費	13,489
		総務費	39,240
		文書事務費	216
		郵便連絡費	72,585
		慶弔費	56,200
II 本年度収入	3,569,686	卒業記念品代	108,000
【内 訳】		クラブ活動援助金	600,000
新入会員会費	1,540,000	名簿入力・追録費	78,019
同窓会活動支援寄付金	803,000	ホームページ作成・維持費	107,436
維持会費	1,066,000	差引残高	13,379,659
総会・懇親会会費	156,000	IV 次年度繰越	13,379,659
預金利息	2,186	【内 訳】	
名簿売上	2,500	定期預金	3,000,000
		普通預金	3,056,842
		郵便貯金	7,226,042
		小口現金	96,775
合計	16,239,765	合計	16,239,765

注：(1)送料を含む

名簿部より

同窓会名簿発行について

・二〇一七年創立七十周年を記念し、有意義な同窓生の交流を応援するツールとして、「2017年版同窓会名簿」を発行する事が決定致しました。(2011年版同様、名簿にはナンバリングが施されていますので、取り扱いには十分ご注意ください)
 ・各担当年次委員の皆様には、本年9月下旬に、同窓会が得ている「同期名簿」を郵送させて頂きまますので、同期生の最新情報を調査後、翌年1月中旬までに返送頂き、更にデータ更新を実施して参ります。ご理解ご協力の程よろしくお願ひします。

名簿デジタルデータ更新について

- ①「竹早中学校同窓会個人情報に関するガイドライン」及び「竹早中学校同窓会個人情報保護基本方針」を遵守し、管理致します。
 - ②同窓会誌「フレッシュアップ」発行時の同窓会誌返信葉書にて、毎年調査を行い、変更事項について更新致します。
 - ③2017年版同窓会名簿作成に当たり、担当年次からの情報にて更新を致します。
 - ④随時、郵送又はメールにてデータ提供をいただいた場合、更新致します。
- ・自分の住所等の変更があった時
 ・2011年版名簿に記載誤りがある時
 ・2011年版名簿に友人の空欄(消息不明)をお知らせいただける時

※なお、ご本人が公表拒否を希望されている場合は、同窓会のみ管理となっています。

【連絡先】

〒112-0002

東京都文京区小石川4-2-1

東京学芸大学附属竹早中学校

同窓会名簿部 白石 英行 宛

E-MAIL bunkyo@mailne.jp

- ④デジタルデータ更新は年2回(3月・9月)行います。

同期会開催へのデータ提供について

各年次委員に限定し提供致しますので、上記の名簿部 白石 英行までお問い合わせ下さい。

平成28年度

同窓会活動報告

4月8日 入学式出席

古谷会長他出席(お祝い金1万円)

4月18日 第1回理事會

名簿について・フレッシュアップ・総会・懇親会について

5月29日 先生方との懇親會

霞が関 桂

6月6日 第2回理事會

総会準備に向けて・フレッシュアップ発行発送について・名簿発行の決定・人事報告

7月11日 同窓会総會

クラブ活動援助金贈呈

9月12日 第3回理事會

総会報告・フレッシュアップ・名簿発行について

9月26日 運動會

会長他出席

11月6日 文化研究発表會

常務理事出席

11月20日 3年生保護者會

入会に關しての説明(白石理事)

11月21日 第4回理事會

會費支払方法・名簿発行への取り

1月30日 新年會

霞が関 別邸桂

3月14日 卒業式予行出席

記念品贈呈(校章入りマグカップ・名簿 小管理事)

3月15日 卒業式出席

古谷会長他出席(お祝い金1万円)

平成28年度

同窓会常務理事

会長 古谷顕史郎

副会長 松岡 隆司

顧問 村上 一路

二瓶 好正

田中 元次

三嶋 明

高柳 良夫

高島 正子

白江 千治

高柳 良夫

三嶋 明

田中 充

小菅 昭彦

田上 睦美

野島 雅

関根 青磁

白石 英行

関根あすか

正野 敬子

永井真知子

石黒由香里

石川 敬子

藤田 恭子

仲野 一朗

進藤 冬子

28年度総会担当年次 38期代表者

関根 青磁

和田直久

清里公美子

市原真智子

維持会費同窓会支援寄付金 ご協力のお願ひ

同窓会経費は、入会金、維持会費、同窓会支援寄付金その他の収入金をもってこれにあてる(同窓会会則22条)。27年度の収入は約357万円、支出は約286万円でした(平成27年度會計報告参照)。収入内訳は、入会金154万円、維持会費約107万円、同窓会活動支援寄付金約80万円、その他約16万円でした。維持会費は、毎年20000円で、卒業後7年以降経過した社会人を対象にしています。同封の払込取扱票をご利用ください。なお、払込入住所氏名欄の住所・氏名・卒業年次の記入をお忘れなく(毎年払い込みください)。

編集後記

エクサスケールの衝撃

今回は、書籍の紹介をさせていただきます。「エクサスケールの衝撃」次世代スーパーコンピュータが壮大な新世界の扉を開く 齊藤 元章(著) P H P 研究所」本書によりますと、近い将来、人類が初めて「エクサ」という数値単位の演算性能に到達することになる。その数値単位の性能によるコンピュータ処理は「エクサスケール・コンピュータ」と呼ばれ、新たに「前特異点」とも定義すべき大きな変革をもたらす可能性を秘めている。「エネルギーがフリーになる」「働く必要のない社会が出現する」「人類が不老を得る」……となる可能性を語っております。

これが実現可能な未来であるとするのであれば、私たちは何をしようか? 芸を追及するかもしれない? 家族との時間を充実させるかもしれない? 旅行に行こうか? でも、そんな時代が来るとしたら? 同窓生の皆様との時間をもっと充実させたいと思っております。(野島)

同窓会ホームページを活用ください。

<http://www.takahaya-hs-dousouka.net/>